

日本臨床歯科学会熊本支部 会員発表

日時：2019年7月23日 火曜日 19時30分

会場：添島歯科クリニック研修室

i. 表題

Complete Denture ～旧義歯を読む～その後

ii. 発表者名 所属機関

長野 靖弘 医療法人社団徳治会 長野歯科医院

iii. 略歴

1988年 神奈川歯科大学卒業
1995年 医療法人社団徳治会吉永歯科医院勤務
1997年 医療法人社団徳治会長野歯科医院開院

・所属学会

日本口腔インプラント学会、日本補綴歯科学会、日本歯周病学会、
歯科医療管理学会、摂食嚥下リハビリテーション学会、日本歯科放射線学会、
ICOI Fellow、日本顎咬合学会 認定医、
日本口腔感染症学会 院内感染予防対策認定医

・所属スタディグループ

日本臨床歯科医学会 熊本支部、K. I. M. P. G. I.
三笠会、熊本歯科三水会 副会長
NPO 法人介護の輪 監事
日本臨床歯科医学会 熊本支部

v. 抄録本文

1996年に添島正和先生の総義歯患者実習セミナーを受講した。

コンプリートデンチャー作製は、患者が、旧義歯のどこに不満を持っているかということ
を明確にすることと、それを解消してあげることが大切である。

そのためには、旧義歯の診査・診断が重要であり、良い所と悪い所を、新義歯作製に
活かさなければならない。そして、現在よりも咬めるようにしなければならない。

20年程前の症例である。「普通のケースを確実に」という教えのもと、取り組んできたが、その後、症例によっては、他のオプションも取り入れてきた。

また、訪問診療に取り組んでからは、義歯に対する考え方もだいぶ変化してきた。

それは、患者の口腔機能、食形態、全身状態、認知度などを考慮し、多様なニーズに
対し、トータルに受け入れられる義歯でなければならないということである。

諸先生方のご指導、お願いします。